

都市再生整備計画 事後評価シート
誉田駅周辺地区

平成27年3月

千葉県千葉市

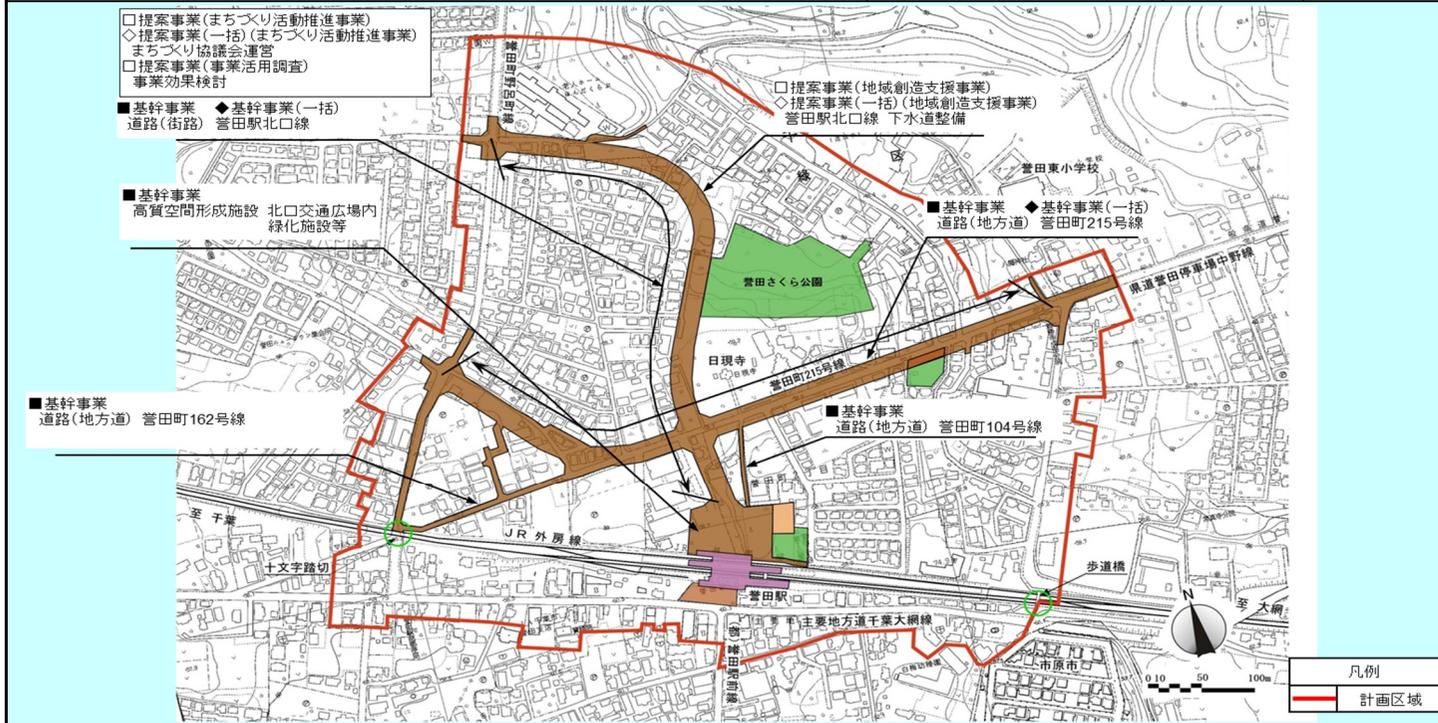
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県		市町村名	千葉市		地区名	誉田駅周辺地区			面積	29.6ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	864	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(誉田町215号線、誉田駅北口線、誉田町104号線、誉田町162号線)、高質空間形成施設(北口交通広場内)									
			提案事業	地域創造支援事業(下水道整備)、事業活用調査(事業効果検討)、まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会運営、誉田町162号線一方通行等シミュレーション)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-	削除/追加の理由		-		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動推進事業(誉田町162号線一方通行等シミュレーション)	事業の廃止		-		影響なし				
	新たに追加した事業		基幹事業	-	-		-		-				
			提案事業	-	-		-		-				
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	駅からの徒歩5分圏域	ha	17.8	H21	19.7	H26	モニタリング	評価値	達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標2	幹線道路の安全すれ違い率	%	43.9	H21	54.6	H26	-	19.7	-	あり	誉田駅から徒歩で5分以内に到達できる範囲が増加したことにより達成した。	-
	指標3	居住環境満足度のアップ	%	43.1	H21	50.0	H26	-	54.6	-	あり	歩行者の安全すれ違いが可能な区間が増加したことにより達成した。	-
											あり	道路整備や駅前のサイン整備、下水道整備等で地区内の交通環境や居住環境等が改善したことにより、住民満足度が向上し、目標値を達成した。	-
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値	達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 新たに道路が整備され、街並みが良くなった。 各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。 誉田駅北口広場にサインが設置され、地区外からの来訪者の分かりやすさが向上した。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
	住民参加プロセス	協議会による意見交換・意見収集等		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2 - 2 地区の概要

菅田駅周辺地区(千葉県千葉市) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：菅田駅を核とした交通結節点の強化及び地域の生活環境や利便性向上 目標1：交通機能の改善整備及び強化 目標2：地区内の円滑な交通処理と安全な居住環境の確保 目標3：歩行者の安全確保及びバリアフリー化	駅からの徒歩5分圏域	単位: ha	17.8 H21	19.7 H26	19.7 H26
	幹線道路の安全すれ違い率	単位: %	43.9 H21	54.6 H26	54.6 H26
	居住環境満足度のアップ	単位: %	43.1 H21	50.0 H26	56.6 H26



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 各道路整備により交通処理能力が向上した。 菅田町215号線、菅田駅北口線の整備に併せ、自転車通行帯を設置したことで、交通環境が向上した。 菅田駅の北口交通広場内にサインが設置され、地区外からの来訪者の分りやすさが向上した。 菅田町215号線、菅田駅北口線が整備され、幹線道路が増え交通円滑性が向上した。 「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、菅田町215号線、菅田駅北口線の歩道が整備され、平坦性の確保、透水性の向上などがされた。 各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。 菅田駅北口線の下水道整備により雨水処理能力が向上した。 菅田町215号線の電線類の地中化により防災性が向上した。 菅田町215号線、菅田駅北口線の道路整備により通学路の歩道が確保された。
----------	---

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 想定した交通流になるよう、幹線道路の利用を促す。 今後はソフト施策を展開することで防災性の向上を図る。
---------------------	--

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3 - モニタリングの実施状況
- 添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5 - まちの課題の変化
- 添付様式5 - 今後のまちづくり方策
- 添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5 - 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6 - 参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 都市再生整備計画評価委員会の審議

- 添付様式8 都市再生整備計画評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標					
B. 目標を定量化する指標					
C. 目標値					
D. その他()					

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ¹ (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	誉田町215号線	345	L=685m	291	L=685m	事業費の見直し	影響なし		
道路	誉田駅北口線	391	L=525m	467	L=525m	事業費の見直し	影響なし		
道路	誉田町104号線	5	L=110m	5.4	L=110m	事業費の見直し	影響なし		
道路	誉田町162号線	5	L=150m	1.0	L=150m	事業費の見直し	影響なし		
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設	北口交通広場内	1	サイン1箇所	1	サイン1箇所	なし			
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

¹: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ¹ (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度 2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度		基準 年度		基準 年度	目標 年度					あり	なし	
指標1	駅からの徒歩5分圏域	ha	-	-	17.8	H21	19.7	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み	19.7	事後評価			
指標2	幹線道路の安全すれ違い率	%	-	-	43.9	H21	54.6	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み	54.6	事後評価			
指標3	居住環境満足度のアップ	%	-	-	43.1	H21	50.0	H26	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定 見込み	56.6	事後評価			
指標4									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定 見込み		事後評価			
指標5									モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定 見込み		事後評価			

指標	目標達成度 × の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	新たに道路が整備され、菅田駅から徒歩で5分以内に到達できる範囲が増加したことにより目標値を達成した。	
指標2	新たに歩道が整備され、歩行者の安全なすれ違いが可能な区間が増加したことにより目標値を達成した。	
指標3	道路整備や駅前のサイン整備、下水道整備等で区内の交通環境や居住環境等が改善したことにより、住民満足度が向上し、目標値を達成した。	
指標4		
指標5		

1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

2 目標達成度の記入方法

：評価値が目標値を上回った場合

：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考) ¹ 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定			

¹ 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・新たに道路が整備され、街並みが良くなった。
 ・各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。
 ・誉田駅北口広場にサインが設置され、地区外からの来訪者の分かりやすさが向上した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
協議会による意見交換・意見収集等	予定どおり実施した	[実施頻度]6回 [実施時期]平成22年度～平成26年度 [実施概要] 計画段階から地元代表等と意見交換しつつ、事業の進捗をまちづくりニュースとして情報提供しながら地元の意見を反映させた事業展開を実施	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		体制構築に向けた取組内容	まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市街地整備課、道路計画課、道路建設課	実施回数:1回 実施時期:平成27年2月12日	道路建設課(主管課)

添付様式4 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3			
指標名		駅からの徒歩5分圏域		幹線道路の安全すれ違い率		居住環境満足度のアップ			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(誉田町215号線)		各道路事業により道路が整備され誉田駅から徒歩5分圏域が増加したことが直接的に貢献した。 また、道路整備と併せて高質空間形成施設によりサインが設置されたこと、地域創造支援事業により下水道が整備されたことも、道路環境の向上に間接的に貢献しているものと考えられる。		幹線道路において、道路事業により歩道が整備され、歩道設置率が向上したことが直接的に貢献した。 また、道路整備と併せて地域創造支援事業により下水道が整備されたことも、道路環境の向上に間接的に貢献しているものと考えられる。		各道路事業により道路や歩道が整備されたことや地域創造支援事業により下水処理能力が向上したこと、高質空間形成施設によりサインが設置されたことで、地区内の居住環境が向上したことに直接的に貢献した。 また、まちづくり協議会の運営により事業の計画段階から地域住民の意見を収集、反映して事業を展開したことも間接的に貢献しているものと考えられる。		
	道路(誉田駅北口線)								
	道路(誉田町104号線)								
	道路(誉田町162号線)								
	高質空間形成施設(北口交通広場内)								
提案事業	地域創造支援事業(下水道整備)								
	事業活用調査(事業効果検討)								
	まちづくり活動推進事業(まちづくり協議会運営)								
	まちづくり活動推進事業(誉田町162号線一方通行等シミュレーション)								
関連事業	街路事業								

指標改善への貢献度

- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- ・事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用				
-------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内検討会	市街地整備課、道路計画課、道路建設課	実施回数：1回 実施時期：平成27年2月12日	道路建設課(主管課)

添付様式5 - まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
交通機能の整備及び強化	・各道路整備により交通処理能力が向上した。 ・誉田町215号線、誉田駅北口線の整備に併せ、自転車通行帯を設置したことで、交通環境が向上した。 ・誉田駅の北口交通広場内にサインが設置され、地区外からの来訪者の分りやすさが向上した。	・特になし	・特になし
道路交通混雑の緩和と住宅地内 通過交通の削減	・誉田町215号線、誉田駅北口線が整備され、幹線道路が増え交通円滑性が向上した。	・特になし	
バリアフリーの推進	・「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、誉田町215号線、誉田駅北口線の歩道が整備され、平坦性の確保、透水性の向上などがされた。	・特になし	
防災性の向上	・各道路整備により、災害時における緊急車両の進入できる道路が増え、防災機能が向上した。 ・誉田駅北口線の下水道整備により雨水処理能力が向上した。 ・誉田町215号線の電線類の地中化により防災性が向上した。	・特になし	
通学路の安全性の向上	・誉田町215号線、誉田駅北口線の道路整備により通学路の歩道が確保された。	・特になし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5- B欄に記入します。

添付様式5 - 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	安心・安全な道路空間の確保	・想定した交通流になるよう、幹線道路の利用を促す。	・幹線道路の交通量等の把握
	更なる防災性の向上	・今後はソフト施策を展開することで防災性の向上を図る。	・駅自由通路の供用により南北の地域分断が解消されたとともに各道路整備及により、対象地区の防災機能が向上したため、地域住民主体による防災訓練等の啓発

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

様式5 - の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4 -)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4 -)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5 -)を再確認した。

添付様式5 - 参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・利便性や快適性の視点で補完的な指標を設定したことで事業評価を適正に行うことができた。	・補完的指標を設定し、事業の成果を評価することが重要である。
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6 - 参考記述 今後、都市再生整備計画の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

【今後の活用予定】

なし

【今後、事後評価を予定する地区】

なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページでの掲載	平成27年2月24日 ～平成27年3月9日	平成27年2月24日 ～平成27年3月9日	担当課への、郵送、FAX、電子メール	道路建設課(主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	-	-	-		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	-	-	-		

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

都市再生整備計画(第3回変更)

ほんだえきしゅうへんちく
誉田駅周辺地区

ちば ちば
千葉県 千葉市

平成26年3月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・交通機能の整備及び強化に関連して、 誉田駅へのアクセス道路の整備により、駅北口の交通機能の強化を図る。 市道誉田町162号線一方通行により、十文字踏切付近の交通渋滞を緩和を図る。</p>	<p>道路(地方道)(基幹事業 / 誉田町215号線、誉田町104号線、誉田町162号線)、 道路(街路)(基幹事業 / 誉田駅北口線)</p>
<p>・安全な居住環境の確保及び歩行者の安全確保に関連して、 市道誉田町215号線及び誉田駅北口線の整備により、狭隘な生活道路への通過交通を削減する。地区傍に小学校があるので、児童が安全に通学できる歩道が設置された幹線道路を整備する。 また、「千葉市交通バリアフリー基本構想」に基づき、特定経路を含め、重点整備地区内の主要道路における歩道整備を推進する。(歩行面の平坦性確保・透水性舗装・電線類の地中化)</p>	<p>道路(地方道)(基幹事業 / 誉田町215号線)、道路(街路)(基幹事業 / 誉田駅北口線)</p>
<p>その他</p>	
<p>上記の目標を達成するために、計画区域及びその周辺地区の地元住民と交通事業者で構成される協議会(傍聴可能)により、計画案に関する地元住民との意見交換・意見収集、「まちづくりニュース」の発行による計画概要・事業の進捗等の地元への情報提供を行いながら、地元住民の意見を反映させた事業展開を図っていく予定である。</p>	

交付対象事業等一覧表

誉田駅周辺地区(千葉県千葉市)

交付対象事業費	864.0	交付限度額	345.6	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	702.5	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	281.0		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	161.5	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	64.6		

(金額の単位は百万円)

基幹事業 社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		誉田町215号線	千葉市	直	L=685m	平成15年度	平成26年度	平成22年度	平成26年度	2,877.0	252.0	252.0		252.0
		誉田駅北口線	千葉市	直	L=525m	平成15年度	平成26年度	平成22年度	平成26年度	1,275.6	357.6	357.6		357.6
		誉田町104号線	千葉市	直	L=110m	平成17年度	平成26年度	平成25年度	平成25年度	31.4	5.4	5.4		5.4
		誉田町162号線	千葉市	直	L=150m	平成17年度	平成26年度	平成25年度	平成25年度	1.0	1.0	1.0		1.0
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設		北口交通広場内	千葉市	直	-	平成16年度	平成26年度	平成25年度	平成25年度	10.0	1.0	1.0		1.0
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
		拠点開発型												
		沿道等整備型												
		密集住宅市街地整備型												
		耐震改修促進型												
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										4,195.0	617.0	617.0	0.0	617.0

基幹事業 地域自主戦略交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		誉田町215号線	千葉市	直	L=685m	平成15年度	平成26年度	平成24年度	平成24年度	39.0	39.0	39.0		39.0
		誉田駅北口線	千葉市	直	L=525m	平成15年度	平成26年度	平成24年度	平成24年度	109.4	109.4	109.4		109.4
公園														
河川														
下水道														
合計										148.4	148.4	148.4	0.0	148.4

基幹事業 総計(+)														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	開始年度	終了年度	開始年度	終了年度	(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
合計										4,343.4	765.4	765.4	0.0	765.4

都市再生整備計画の区域

<p>誉田駅周辺地区(千葉県千葉市)</p>	<p>面積 29.6 ha</p>	<p>区域 千葉県千葉市緑区誉田町2丁目の一部</p>
------------------------	-------------------	-----------------------------

